

## 1 設置の目的

平成22年から26年の5年間（第1フェーズ）でのさまざまな在宅医療の推進・普及の取組みにより、一定の成果があげられたものの、急速な高齢化に伴う在宅医療ニーズの増加に対応できるよう、更なる在宅医療推進体制を構築していくために、対策の具体的な議論を行う場とするもの。

## 2 WG構成団体

柏市医師会，柏市訪問看護ステーション連絡会，東京大学高齢社会総合研究機構，柏市

## 3 検討事項

- ① **主治医・副主治医制の更なる機能強化**
- ② **在宅と病院との連携強化**
- ③ **訪問看護ステーションの基盤強化**

# 在宅医療第2フェーズ・ワーキングの位置づけ

## 柏市在宅医療・介護多職種連携協議会

- ・在宅医療・介護多職種連携ルールの作成
- ・在宅医療推進のための行政施策への反映 など

事務局：柏市

委員：柏市医師会（診療所，病院），柏歯科医師会  
柏市薬剤師会，柏市訪問看護ステーション連絡会，柏市介護支援専門員協議会，地域包括支援センター，柏市在宅リハビリテーション連絡会，東葛北部在宅栄養士会，介護サービス事業者協議会，柏市社会福祉協議会，柏市ふるさと協議会連合会 ほか

10病院地域連携会議

在宅医療第2フェーズWG

意思決定支援検討WG

### 多職種連携・ 情報共有システム 部会

- 情報共有システムや多職種連携ルールについて議論
- 必要に応じ個別症例の検討

### 研修部会

- 在宅医療多職種連携研修，顔の見える関係会議等の計画と実施
- 通年で在宅医療・地域医療をテーマとした研修を企画運営

### 啓発・広報部会

- ◆在宅医療を始めとする地域医療に関して，市民に向けた普及・啓発活動の方向の検討
- ◆広報・啓発ツールの作成と実践

# 在宅医療第2フェーズ・ワーキングを開催

- ◆日時：10月4日（木）午後7時から9時まで
- ◆会場：柏地域医療連携センター 2階会議室
- ◆議題：
  - (1) 在宅医療第2フェーズの取り組みの発信について
  - (2) 在宅と病院との連携強化について
    - ① 柏モデル研修会について
    - ② 心不全研究会について
  - (3) 訪問看護ステーションの基盤強化について

## ① 主治医・副主治医制の更なる機能強化

医師会主導による、主治医・副主治医制の更なる機能強化に関する研究  
(平成29年度：勇美記念財団在宅医療助成事業)

⇒ 研究から得られた検証結果をさまざまな機会に発信 (例:日本在宅医療連合学会大会)

## ② 在宅と病院との連携強化

病院と在宅のシームレスな連携体制を構築するため、引き続き、病院と在宅の具体的な連携が推進するような効果的な研修を行う。

## ③ 訪問看護ステーションの基盤強化

基盤強化の方向性を検討，訪問看護STマップの作成等を活用した戦略的な訪問看護ステーションの配置誘導等の政策について引き続き検討する。

# ②在宅と病院との連携強化：地域包括ケアシステム研修会

## 1. 昨年度の実施状況

### ①市内12病院で実施

※病院連絡会議に出席している12病院に出向き、医師を含む病院関係者を対象に研修会を開催した。

(救急告示病院9ヶ所，災害協力病院2ヶ所，国立がん研究センター東病院)

#### ◆研修内容◆

柏市・柏市医師会・柏市訪問看護S T連絡会の3者により，柏モデルの概要在宅医療の実際，病院との連携症例の提示等の講話を行った。（約1時間）

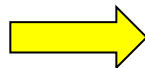
### ②病院側の参加者数：648名

### ③成果

- ・地域包括ケアシステムへの理解が促進された
- ・柏モデルの取組みや柏地域医療連携センターの認知度が向上した
- ・病院内での意識の変化と在宅との連携への機運の高まりが確認された
- ・病院内における地域連携室の存在価値の再認識と相談件数が増加した

# 昨年度の研修会の様子

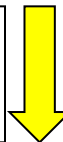
H29.6.13  
おおたかの森病院



H29.9.14  
慈恵医大柏病院



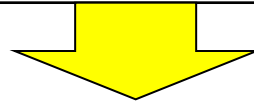
H29.8.8  
柏たなか病院



# ②在宅と病院との連携強化：地域包括ケアシステム研修会

## 2. 今年度の実施について

昨年度の成果と第2フェーズWGでのご議論を踏まえて、**双方向の情報共有と相互理解を図る**ことを目的に素案を検討



### 1. 内容

グループワークによる意見交換の場を設定し、顔の見える関係づくりを構築し、実際に入院している患者の退院に向けて在宅チームとの連携につなげる。

### 2. 試行的な展開

市内2病院（おおたかの森病院・柏市立柏病院）で試行的に実施し、実施状況と成果を病院連絡会議で報告し、次年度の取組みにつなげる。

案）【病院側】医師・看護師・MSW

【在宅側】医師（在宅プライマリケア委員会）・訪問看護師・ケアマネジャー

### 3. 実施時期

1月下旬までの実施に向けて、2病院と現在調整中